

中国株ウイークリーレポート

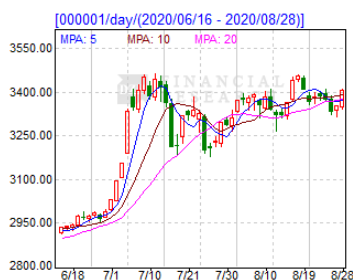
2020/8/31

【指数日足チャート】

▼ハンセン指数



▼上海総合指数



【主要株価指数】

	週末終値	前日比	変化率 (%)	週間騰落率 (%)	年初来騰落率 (%)	19年末株価
NYダウ	28,653.87	161.60	0.57	2.59	0.40	28,538.44
NASDAQ	11,695.63	70.29	0.60	3.39	30.35	8,972.60
日経225	22,882.65	-326.21	-1.41	-0.16	-3.27	23,656.62
上海総合	3,403.81	53.69	1.60	0.68	11.60	3,050.12
滬深300 (CSI300)	4,844.27	112.92	2.39	2.66	18.25	4,096.58
ハンセン	25,422.06	140.91	0.56	1.23	-9.82	28,189.75
中国企業	10,182.83	-19.11	-0.19	-0.29	-8.82	11,168.06

【株式概況】

先週の動き: ハンセン指数は1.2%高と反発、上海総合指数は0.7%高

香港市場ではハンセン指数が1.2%高と反発した。米中対立への警戒感から一進一退の展開となったが、米株相場の上昇や米FRBの新指針などに支えられた。米中対立を巡っては25日に閣僚級の電話協議が行われたことで警戒感が一時的に和らいだが、週後半になると南シナ海を巡る緊張や対中制裁などが嫌気された。本土市場では上海総合指数が週間で0.7%高と5週続伸。7月の工業企業利益が強い伸びを示したことが好感され、28日には再び終値で節目の3400ポイント台を回復した。

今週の展望: 香港市場は堅調な展開か、好調なNY市場やテック系銘柄が追い風に

香港市場は米中対立激化への警戒感にくすぶるものの、NY市場でナスダック総合やS&P500指数が過去最高値を更新するなか、堅調な展開が予想される。香港市場では新規の大型IPOの話題が相次ぎ、米中摩擦やコロナ禍にもかかわらずテック系銘柄の好決算も続いた。ハンセン科技指数に連動するETFの第2弾も登場予定で、テック系銘柄は引き続き活況が見込まれる。一方、本土市場はもみ合いか。米中対立激化への警戒感にくすぶるなか、3400ポイントの節目を上回る水準では利益確定売りも出やすくなりそうだ。

先週のハンセン騰落ランキング

▼騰落率上位	週末終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1 申洲国際集団 (02313)	127.00	16.19
2 中国蒙牛乳業 (02319)	39.20	14.12
3 石業集団 (01093)	17.04	7.71
4 AIAグループ (01299)	80.65	7.46
5 華潤置地 (01109)	36.75	5.76
6 恒隆地産 (00101)	22.10	5.24
7 創科実業 (00669)	100.70	5.11
8 テセント (00700)	540.50	4.34
9 新鴻基地産 (00016)	102.90	3.05
10 太古A (00019)	42.00	2.19

▼騰落率下位	週末終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1 ファイナ・エコム (00762)	5.72	-10.62
2 瑞声科技 (02018)	48.95	-9.27
3 碧桂園 (02007)	9.77	-5.33
4 舜宇光学科技 (02382)	118.10	-4.83
5 ファイ・モバイル (00941)	55.80	-4.45
6 恒安国際集団 (01044)	62.20	-3.42
7 中国中信 (00267)	7.30	-2.93
8 CNOOC (00883)	8.75	-2.89
9 中国建設銀行 (00939)	5.65	-2.42
10 中国工商銀行 (01398)	4.50	-2.39

▼今週の期待材料

- ◆28日にハンセン科技指数連動のETFが上場、今週はさらに同指数連動のETF2銘柄が新規上場へ
- ◆香港の新型コロナ新規感染者が減少傾向、28日からレストランの営業時間などの防疫規制を緩和
- ◆9月1日に8月の財新中国製造業PMIが発表される予定、予想上回る強い内容なら景気回復期待が高まる公算

▼今週の懸念材料

- ◆4日大引け後にハンセン指数の入れ替え発効、入れ替えを前に既存銘柄には売り圧力が強まる公算
- ◆4日に8月の米雇用統計が発表される予定、週末にかけて様子見ムードが強まる可能性も
- ◆A株企業の6月中間決算が出揃う、比較可能な3871社の純利益は全体で18%減少

【今週の材料銘柄】 ☆…ポジティブ ★…ネガティブ ◇…中立

- ☆ 青島ビール (00168) : 20年6月中間決算は14%増益、純利益は市場予想上回る
- ☆ 香港証券取引所 (00388) : 大型IPOに期待高まる、アント・グループが上場申請
- ☆ BYD (01211) : 1-9月期決算は8-9割の大幅増益見通し、中間決算は14%増益
- ☆ 小米集団 (01810) : 9月7日付でハンセン指数構成銘柄に新規採用
- ☆ アリババ集団 (09988) : 9月7日付でハンセン指数構成銘柄に新規採用
- ★ 信和置業 (00083) : 9月7日付でハンセン指数構成銘柄から除外
- ★ 中国旺旺 (00151) : 9月7日付でハンセン指数構成銘柄から除外
- ★ 江蘇高速道路 (00177) : 1-9月期決算は大幅減益の見通し、中間決算は45%減益
- ★ 中国神華能源 (01088) : 9月7日付でハンセン指数構成銘柄から除外
- ★ 中国交通建設 (01800) : 傘下企業5社が米エンティティ・リストに追加

▼今週の主なイベント

- 8月31日(月)
- 【香港】製造業PMI(8月)
- 9月1日(火)
- 【中国】財新製造業PMI(8月)
- 9月4日(金)
- 【米国】雇用統計(8月)

本レポートは、株式会社 DZH フィナンシャルリサーチ（以下、「DZH」と称します）により作成されたものです。

本レポートは、DZH が信頼できると判断した各種データ、公開情報に基づいて作成しておりますが、DZH はその正確性、完全性を保証するものではありません。

ここに示したすべての内容は、DZH で入手しえた資料に基づく現時点での判断を示しているに過ぎません。

DZH は、本レポート中の情報を合理的な範囲で更新するようにはしておりますが、法令上の理由などにより、これができない場合があります。

本レポートは、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の金融商品の売買あるいは特定の金融商品取引の勧誘を目的としたものではありません。

また、本レポートによる情報提供は、投資等に関するアドバイスを含んでおりません。

本レポートにおいて言及されている投資やサービスは、個々のお客様の特定の投資目的、財務状況、もしくは要望を考慮したものではありませんので、個々のお客様に適切なものであるとは限りません。

本レポートで直接あるいは間接に取り上げられている金融商品は、株価の変動や、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化、金利・為替の変動などにより投資元本を割り込むリスクがありますが、DZH は一切その責任を負いません。

DZH は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。

DZH およびグループ会社は、本レポートの論旨と一致しないレポートを発行している場合があります。また今後そのようなレポートを発行する場合があります。

DZH、グループ会社およびその役職員は、本レポートに記載された金融商品について、ポジションを保有している場合があります。

本レポートでインターネットのアドレス等を記載している場合がありますが、DZH 自身のアドレスが記載されている場合を除き、ウェブサイト等の内容について DZH は一切責任を負いません。

本レポートの利用に際しては、お客様ご自身でリスク等についてご判断くださいますようお願い申し上げます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則平 14.1.25」に基づく告知事項>

本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。